

光の道整備事業を再開

企画課情報係 ☎028(677)6032

計画延期から再開までの経緯

昨年から景気低迷に伴う町財政悪化などから計画延期をしていた「光の道整備事業」でしたが、平成21年度国経済危機対策にかかる交付金を活用することにより財源確保が可能となり、事業実施に向けて計画を再開しました。

現在は9月議会で補正予算が可決されたことから、交付金手続きや詳細設計を実施しています。各種手続きが完了次第、入札を実施し、町内ファイバ敷設工事を進めていく予定です。工事は平成22年度末で、サービス提供開始時期は平成23年4月を目指しています。

町内の情報格差解消へ

今回の整備を行うことで、地上デジタル放送の難視聴地域やインターネット利用不可地域が解消され、町内全域どこでも利用することが可能になります。利用に当たっての準備・個人負担などについては決定次第お伝えします。

提供サービスは検討中

サービスに関する詳細・利用料金などについては、現在検討中で、決定次第お伝えします。また、事業やサービスに関する地区説明会も予定していますので別途ご案内します。

光の道整備事業の目指すものとは

現在進めている「光の道整備事業」は、町内全域に光ファイバを敷設し、そのファイバ網を利用して、地上デジタルテレビ放送・超高速インターネットサービスをはじめとして、映像や通信において地域独自サービスの展開を目指すものです。

これにより情報格差の解消や地域情報化、ユビキタス社会における利活用を可能とてくれます。

※ユビキタス：「いつでもどこでも、だれでも」地域情報や行政情報を簡単に利用できる環境のこと

◎事業費の概要

総事業費		650,842千円
財源内訳	国交付金合計	188,000千円
	町負担金額	462,842千円

- (事業費内訳)
- ・ファイバ関連工事 472,000千円
 - ・テレビ設備 100,000千円
 - ・インターネット設備 49,000千円
 - ・センター設備 29,000千円

(今回活用する交付金)
 ・地域情報通信基盤整備推進交付金
 ・公共投資臨時交付金

◎サービス提供までのスケジュール

